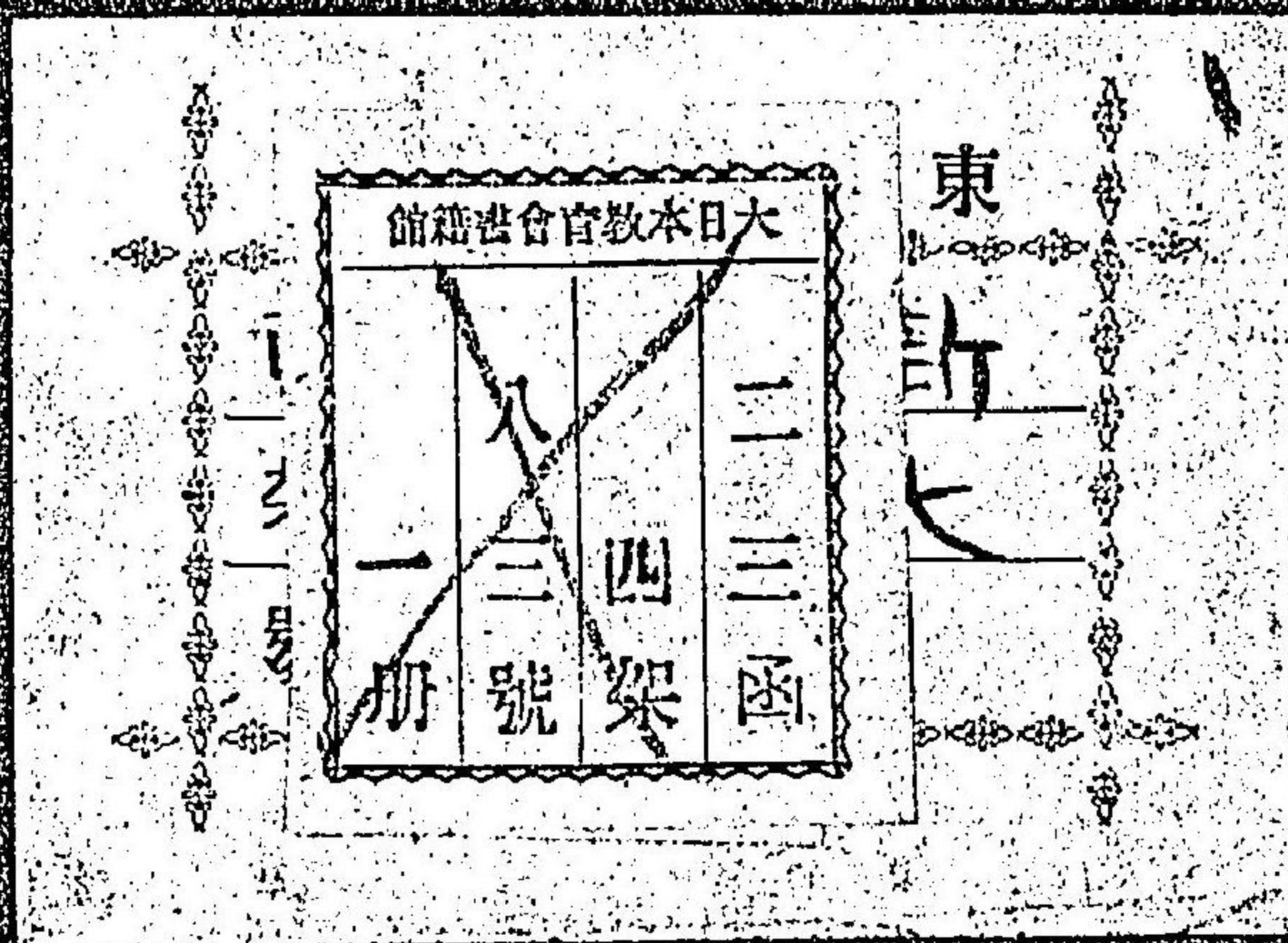


大島一雄編輯
續作
丈初步

一
二

特34

150



特34
150

版 權 免 許

大島一雄編輯

紀事論說

續作丈初步
卷二

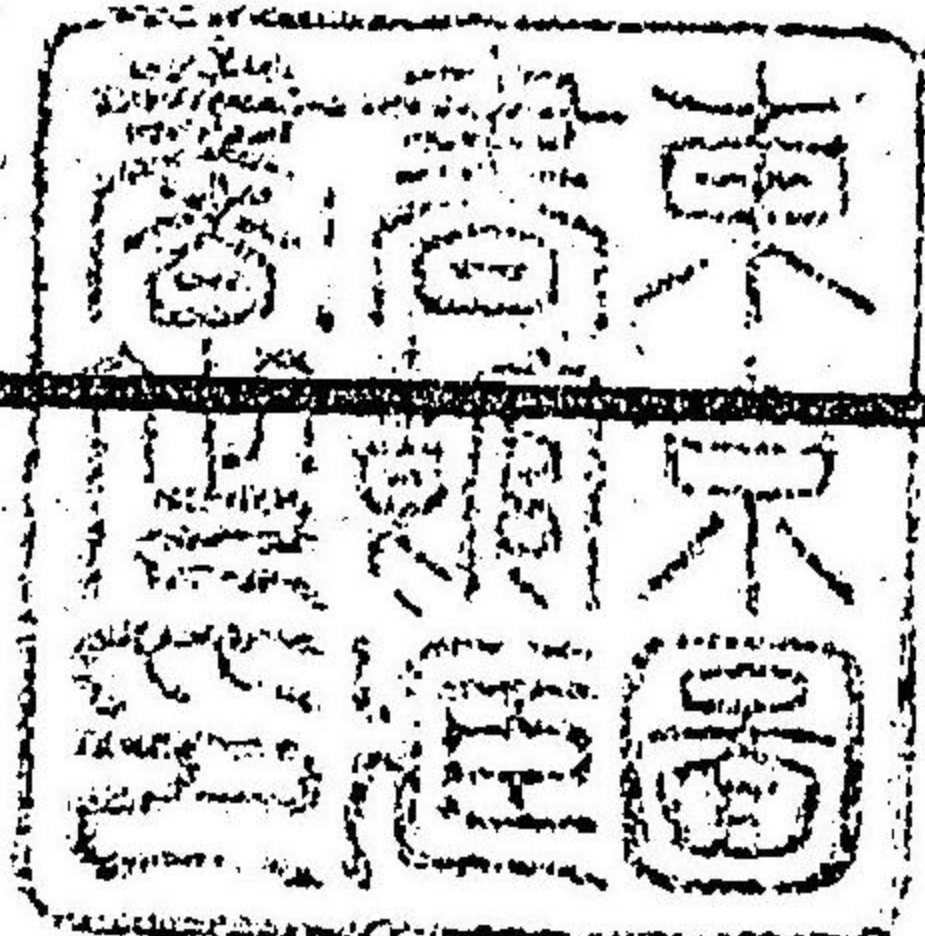
明治十三年
五月刊行
五柳堂梓

辭達

五柳堂

續作丈初步

特34
150



辭達

賈永文

許免權版

大島一雄編輯

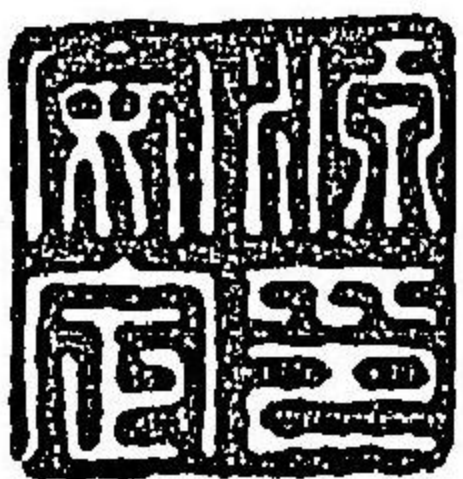


續作
大初集
卷一

明治三十三年
五月刊行
五柳堂印

明治十三年六月

滋賀縣令籠手田實定書



續作文初歩

凡例

- 一此書ハ前編ニ續ギテ記事論説文ヲ授クルガ爲メニ編輯シ前ニ多クノ熟語成句ヲ舉ゲ次ニ作例ヲ載セ生徒ヲシテ模擬操縱實踐シ易カラシメント欲ス
- 一作例ハ或ハ古人ノ文ヲ取り或ハ今世名家ノ文ヲ出シ又ハ方今各府縣下ノ中小學生徒ノ文ヲ掲グルヲ以テ玉石混淆ノ譏ヲ免カレズト雖是レ唯其單簡ニシテ解シ易キヲ主トス

ルノ意ニ出ヅ而シテ其作者ノ名ヲ出サミル
ハ唯簡畧ト主トスレバナリ

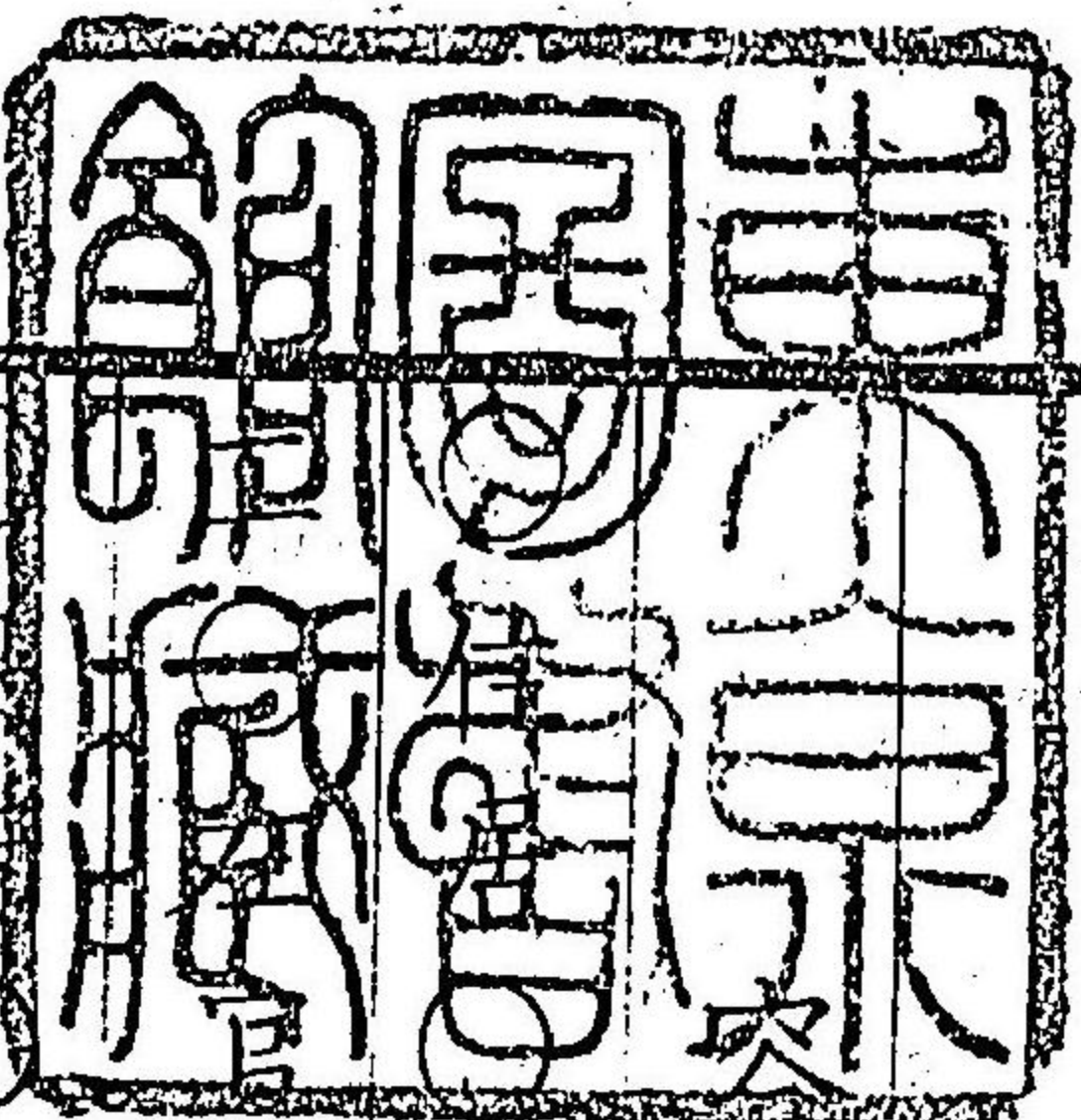
明治十三年二月

編者 識

續作文初歩卷之一

岡山縣 大島一雄 編輯

易記事文類語 第一



住所○居住○屋根○瓦葺○草葺○大
窓○戸○障子○格子○椽側○天井
○鴨棚○敷居○室中○玄關○臺所○庖厨○床
ノ間○坐敷○煉化石○石造○木造○礎○壁○
造作○造營○建築○材木○模様○風雨ヲ凌ギ
○蔽フ○明ヲ取ル○窓戸ヲ開閉ス○柱ヲ建テ
壁ヲ塗ル○家屋○梁上ヲ行キ○土藏○厨ニ入

リ○食物ヲ竊ミ○食ヒ○棚ニ上リ○臺所ニ出
デ○衣裳ヲ齧ミ○器具ヲ損ジ○穴ヲ穿テ○巢
ヲ造リ○匿ル○懼ル○土中ニ棲ミ○跡ヲ見ズ
○夜中○夜間ニ出テ○晝間○檐○軒端○野外
ニ出デ○穀類ヲ啄ム○邑里ニ棲ム○田畑ヲ荒
シ○伶俐ナル鳥○能ク機ヲ曉リ○檐ニ巢クフ
○男帶○女帶ハ幅廣シ○小倉織○博多織○西
陣織○花鳥ヲ繡シ○名山○高峯○駿河○甲斐
ニ跨レル○雲ヲ衝ク○高ク聳ユ○秀ヅル○白
雲○四時白雪ヲ戴キ○播盆スリヤチヲ覆フニ似タリ○

高サ一千四百餘丈○直立○海面ヲ抜ク○花ニ
紅白濃淡有リ○果物○成熟ス○美麗○味甘美
ナリ○甘シ○花ヲ開キ實ヲ結ブ○實熟ス○庭
前○仁ハ藥品ニ充ツ○種子ヲ藥ニ用キ挑仁ト
稱フ○竹木等ニテ造ル○步行○扶ク○携へ○
傾跌ノ厄ヲ免ル○勞ヲ扶ク○遊行ニ伴ハル○
老人ハ杖ノ為ニ步行ス○杖無クテハ步行シ難
シ○路傍ニ息フ○白髮ノ老翁○杖ニ頼リテ徐
々ニ歩ム○壯健○自在○耕耘○耕作○木ノ柄
ヲ嵌メ○農夫○花卉ヲ殖ユ○五穀○尤モ必用ノ

具ナリ○要具○田畑ヲ墾ス○土ヲ穿ツ○鋤鋏
馬把等○櫛ノ木ヲ以テ造ル○耕シ耘ギリ○書
ヲ讀ミ字ヲ寫ス臺○硯箱ヲ戴セ○山野ニ棲ム
○其雄ハ文彩有リ○尾長シ○地震ノ前ニ鳴ク
○羽毛甚美麗ナリ○山林○飛ビ○雌○木葉○
秋末ニ至リ○紅色ヲ呈ス○葉紅色トナル○楓
樹○春ノ花ニ勝ル○花ヲ欺ク○霜ヲ經テ紅ナ
リ○霜後ノ春色○滿山皆錦繡○夕日ニ映ズ○
虹ハ日光ノ色ナリ○水蒸氣ニ映ツル○灣形ヲ
成ス○朝或ハ夕ニ顯ハル○雪ヲ欺キ○果中ノ

美味ナル者○津液ヲ含ミ○架ヲ造ル○渴ヲ消
シ○枝ヲ撓メ○珍果○大サ拳ノ如シ○鍍ニテ
鑄造リ鍔有リ○竈ニ掛クル○飯ヲ炊ク○食物
ヲ烹ル○其形稍異ナリ○湯ヲ沸ス○竹林中ニ
生ズ○消化セズ○筍又筍ト書ス○竹叢○淡
竹○苦竹○孟宗竹○犢角ニ似タリ○凍筍生ズ
○煮テ食物トス○菜蔬ノ類○塩漬トス○味噌
漬○其色濃紫○囊ヲ括ルニ似タリ○葉莖及根
ヲ食フ○根ヲ最トス○味淡泊ナリ○尾張大根
○葉ハ青シ根ハ白シ○蕪菁ハ根扁キ有リ長キ

有リ○紅蕪菁ハ彦根ノ名産ナリ○漬菜○水菜
 ○朝ニ開キ夕ニ萎ム○故ニマタ朝顔ト云フ○
 槿○早朝ニ咲ク○日光ヲ見レバ午チ萎ム○籬
 ○蓄ハ筆ノ如シ○漏斗ニ似タリ○早魁○飲料
 ニ供ス○清浄○屋傍○水ヲ汲ム○器物ヲ洗滌
 ス○釣瓶ヲ以テ汲ミ○土ヲ焼キ○窯ニ入ル○
 燻ベ焼キ○雨露ヲ禦グ○屋根ヲ葺ク○網○泛
 子○鈎ヲ着ケ○縲○魚ヲ釣ル○酒及酢醬油等
 ヲ入ル○酒ヲ温ムルノ用ニ供ス○陶器○鍔ヲ
 鍛フ○肉類ヲ割キ○贈ヲ造ル○用ニ隨ヒ形ヲ

異ニス○肉ヲ屠ル○菜刀○刺身庖刀○出齒○
 料理○調理○俎○木片ヲ連ネ○籬ヲ嵌メ○液
 類ヲ貯フ○籬ヲ二三ヶ所ニ掛ケ○竹ヲ割リ編
 ミテ環状ヲ成シ○蓋ヲ鏡ト云フ○四斗樽一升
 樽○杉○檜○花拍○畜類○人家ニ畜ヒ○盜ヲ
 警ム○留守ヲ守リ○盜難ヲ豫防ス○怪シキ者
 ヲ見レバ必ス吠ユ○其性甚ク伶俐○使者ノ用ヲナ
 ス○鼠ヲ捕ル○肴ヲ竊ム○犬ニ劣ル○屋ニ上
 リ○鯉魚節ヲ嗜ム○牧場ニ畜フ○其毛ヲ剪リ
 ○草ヲ食フ○毛織○毛布○羅紗ヲ織ル○深山

ニ棲ム○獸類○猛獸○性甚暴ナリ○鹿兎ノ類
ヲ捕ヘ○飢ウル時ハ人ヲ害ス○食ヲ貪ル獸○
其尾垂下ス○網ヲ恐レ○群ヲ成シテ往來ス○
常ニ群ヲ聯ネ○大サ犬ノ如シ○身體肥大ナリ
○魯鈍○畜養○家畜○割烹○生育○野猪ニ似
テ牙ナシ○鼻大ニシテ強シ○絹絲○麻絲○衣
ヲ縫フ○繭ヨリ製ス○我日本國ノ名産○多ク
外國ニ輸出ス○衣服ヲ裁製ス○綿ヲ紡グ○苧
ヲ績ム○西洋各國○茶ヲ煮ル○種々ノ用○火
扁ク○丁字形○水ヲ攪キ○舟ヲ行ル○船ヲ漕

グ○水手○船舶ヲ穢シ○運漕○波浪○小舟ニ
掉サシ○舟ヲ浮ベ○紙ヲ張り○火ヲ点ジ○骨
ヲ造リ○圓ナル有リ方ナル有リ○室中ヲ照ス
○暗夜ヲ照ス○未熟ノ果實○青クシテ溢シ○
霜ニ値フ○串ニ貫キ○白樹○烏樹○酒氣ニ薰
ジテ酬ス○樽拔○常ニ○西洋人○穀類魚類○
鳥肉獸肉○野菜○煮タルヲ食フ○漬物○蔓○
架ニ延ハシム○葡萄酒○推茸ハ推ノ木ニ生ズ
○松茸ハ赤松有ル山ニ生ズ○香氣愛スベシ○
香氣高シ○傘ニ似タリ○苔ヲ侵シテ出ツ○山

國ノ珍味○西瓜○越瓜○甜瓜○葉ヲ乾シ○刻
 ム○煙ヲ喫ム○健康ニ害有リ○養生ノ人○梅
 雨中○菜菔○乾シテ貯フ○苞ヲ脱ス○三年ニ
 シテ實ル○常食○種子ヲ播キ○水旱粳糯○成
 熟ニ早晚有リ○遲速ニ因リテ名ヲ異ニス○早
 稻ハ早ク實ル○實用ニ適ス○陸地ノ運送○車
 ヲ引ク○牽ク○荷物ヲ負フ○遠キ處ニ輸ル○
 滋養ノ功○牝牛○牡牛○乳汁ヲ齎ル○衣服ノ
 暖ナルハ毛織ナリ○其次ハ木綿ナリ○晨ヲ報
 ズ○雞卵○肉及卵○毛冠

作例第一

○家ハ人ノ住居スル處ナリ、
 ○鼠ハ夜中ニ出デ、晝間ハ匿ル、
 ○雀ハ小鳥ニシテ屋根ノ間ニ巢ク、
 ○男帯ハ其幅狭クシテ女帯ハ廣シ、
 ○富士山ハ駿河ニ在リ、我國第一ノ高峯ナリ、
 ○桃ハ果物ニシテ實熟スレバ其味甘美ナリ、
 ○杖ハ竹木等ニテ造リ人ノ歩行ヲ助クル具ナ
 リ、
 ○土ヲ穿テ畑ヲ耕スニ用キル器ハ鋤及鋤ナリ、

- 机ハ書ヲ讀ミ、文字ヲ寫スニ用キル臺ナリ、
- 雉ハ山野ニ棲ム鳥ニシテ、其色甚美麗ナリ、
- 秋ノ紅葉ハ春ノ花ヨリ紅ナリ、
- 朝ノ虹ハ西ニ顯ハレ、夕ノ虹ハ東ニ顯ハル、
- 梨ハ花白クシテ實ハ薄黄色ナリ、
- 茶釜ハ茶ヲ煮又湯ヲ沸ス器ナリ、
- 筍ハ皮ヲ剥ギ根ヲ去リ、煮テ食物トスベシ、
- 茄子ハ野菜ナリ、煮テ食シ、又塩漬トス可シ、
- 大根、蕪及菘ハ、塩ニ漬ケテ食トシ、又煮テ菜トス可シ、

- 牽牛花ハ朝花ヲ開ク、故ニ朝顔トモ書ス、
- 槿モ朝ニ開キ夕ニ萎ム、故ニ亦朝顔ト云フ、
- 井ハ深ク地ヲ穿テ水ヲ汲ミテ飲料ニ供ス、
- 瓦ハ土ニテ造リ窯ニ入レテ燒キ、屋根ヲ葺クニ用キル者ナリ、
- 釣竿ハ竹ニテ造リ、縵及鈎ヲ着ケテ魚ヲ釣ル具ナリ、
- 徳利ニ酒ヲ入レ、鉢ニ肴ヲ盛ル、
- 庖刀ト俎ハ、菜類及魚類等ノ調理ニ要用ナリ、
- 樽ハ、彼處ノ棚ニ在リ、鉢ハ、其處ノ戸棚ニ在リ、

○犬ハ、人家ニ畜シ、夜ヲ守リ、盜ヲ警シムル者ナリ、

○猫ハ、鼠ヲ捕ルニ要用ナレバ、盜ヲ警シムルコト能ハ、ザルハ犬ニ劣レリ、

○羊ハ、畜類ナリ、其毛ヲ剪リテ羅紗ヲ織ル、

○狼ハ、深山ニ棲ム獸ニシテ、時々人ヲ害スルコト有リ、

○豕ハ、其形肥大ニシテ、其性魯鈍ナリ、而シテ其肉ハ食用トスベシ、

○絲ニ絹、木綿、麻等種々有リ、皆衣類等ヲ縫フニ

用キル、

○絹絲ハ、蠶ノ繭ヨリ製ス、我國ノ名産ニシテ、多ク外國ニモ輸出ス、

○釜ハ、鍍ニテ鑄造リ、飯ヲ炊キ、湯ヲ沸ス等ノ用ニ供スル者ナリ、

○擢ハ、木ニテ造リ、其尖扁クシテ、其柄丁字形ナリ、舟ヲ行ルノ用ニ供ス、

○行燈ハ、木ニテ骨ヲ造リ、紙ヲ張り、火ヲ点ジテ室中ヲ照ス具ナリ、

○熟セル柳ハ、其味甘美ナレドモ、未熟ノ者ハ、澁

クシテ食フ可ラズ、

○日本ノ人ハ、常ニ穀類、魚類ヲ食シ、西洋ノ人ハ、多ク鳥肉、獸肉ヲ食ス、

○野菜ハ、煮タルヲ食フベク、菓物ハ熟セザルヲ食フ可ラズ、

○葡萄ハ、蔓ヲ架ニ延ハシム、其實ヨリ取ル酒ヲ葡萄酒ト云フ、

○松茸ハ、赤松有ル山ニ生ズ、香氣高クシテ味甚美ナリ、

○西瓜ハ、畑ニ作ル、蔓ヲシテ地ヲ延ハシメテ實

ヲ結ブ、其肉赤クシテ味甘シ、

○煙草ハ、葉ヲ乾シテ刻ミ、其煙ヲ喫ム、然レモ甚健康ニ害有ル者ナリ、

○粟ハ、梅雨中ニ穂ヲ垂レテ花ヲ開ク、茶彙ヲ結ビテ中ニ二三子有リ、九月頃ニ熟ス、

○稻ハ、五穀ノ一ニシテ人ノ常食タリ、春播キ秋熟ス、類ニ水旱粳糯ノ別有リ、又成熟ニ早中晩ノ三種有リ、

○牛馬ハ、實用ニ適スベキ畜類ナリ、陸地ニ於テ荷物ヲ運ブニ牛馬無クテハ不便ナリ、

○牛馬ハ能ク車ヲ牽キ田ヲ耕シ又能ク荷ヲ負
ヒテ遠キニ輸ル者ナリ、

○牛ノ肉ハ食物トナリテ能ク滋養ノ功ヲ成シ、
又牝牛ヨリハ乳汁ヲ齎リ取ルコトヲ得ルナ
リ、

○衣服ノ暖ナルハ毛織ヲ最トシ、木綿之ニ次ギ、
絹又之ニ次グ、

○雞ハ人家ニ畜フ鳥ニシテ晨ヲ報ズルノ用有
リ、又其肉及卵ハ食物トナスベシ、

容易記事文類語 第二

○桐ノ木 ○衣裳ヲ納ル ○前面ニ錠ヲ設ク ○引
出 ○開放ヲ防グ ○鎖鑰ヲ施シ ○樹上ニ在リテ
噪ク ○水邊ニ居テ鳴ク ○蛇ニ遇ヒテ怖ル ○蛙
ヲ見テ喜ブ ○下地 ○左官ハ壁ヲ塗ル ○鰯ハ海
水ニ生ズ ○肥料 ○乾鰯 ○鯨ハ池中ニ棲ム ○炙
リテ食フ ○鯨ニハ髭有リテ鱗無シ ○鍛鍊 ○双
ヲ着ケ ○薪木 ○樵夫ノ用具 ○材木ヲ斫リ ○網
ヲ引キ ○琵琶湖ニ産ス ○漁獵 ○橘 ○稍厚シ ○
凹凸 ○紀伊ノ名産 ○酒ニ釀シ ○陳皮ト云フ ○

橙黄色○餘々相連リ○中ニ數窩有リ○千絲肉
 中ヲ纏フ○性脆シシテ味甘シ○古根腐チテ新
 根生ズ○廉潔ノ君子○七孔ヲ通ズ○海棠ニ似
 タリ○微紅ヲ帶ブ○熟スルノ微トス○酒ヲ脩
 ム○半紅ヲ帶ブル時ハ食フベシ○萬顆枝ヲ壓
 シ○青紅相半ス○青芋○紫芋○白芋○根ハ極
 メテ粘滑ナリ○芋子ヲ煮ル○形蓮實ノ如シ○
 根塊ヲ食トス○粉質ヲ含ミ○蕃薯○琉球ニ産
 ス○之ヲ常食トス○莖根ヲ食物トス○水銀ニ
 シヤリヲ和シ○塗リテ光ヲ發セシム○物體ノ

影像ヲ映ス○裏ニ花鳥人物等ノ画有リ○表面
 ヲ塗抹シ○光線ヲ返照シ○裝飾ノ具○光線ノ
 經過ヲ遮ル○硝子鏡○鏡奩○文彩有リ○雌雄
 雙ビ飛ビ○暫時○暫クモ○池塘ニ遊ビ○水上
 ニ浮ビ○戯ル○紅毛翠鬣○好音和調シ○小魚
 ヲ捕ル○自ラ破裂ヌ○能ク渴ヲ遏ム○宿醉ヲ
 解ク○數百子有リ○體細長ニシテ鱗ナシ○割
 キテ焼ク○蒲焼○淡水ニ産ス○利根川淀川琵琶
 湖、淺草川等ニ多シ○世ニ著名ナリ○鮮鯉金
 魚ハ玩ニ供スルノミ○鬚○鱗○躍リ出ヅ○鱗

屬ノ一種○激湍ヲ超エ○懸水ニ上ル○愛玩ニ
 供ス○水面ニ唼喙ス○口鰓ヲ動シ○水ヲ吞吐
 ス○鱸殘魚ノ如シ○水魚ハ琵琶湖ニ産ス○香
 氣○人目ヲ娛マシム○單辨重辨ノ別有リ○單
 復ノ別有リ○濃淡ノ異有リ○特種ノ花○艷容
 ○麗姿○艷葩○衆芳ニ冠タリ○吉野嵐山墨田
 ハ櫻ノ名所ナリ○煙霞ノ如ク○遠望十里○園
 庭ニ植ウ○遠眺○爛熳○滿開○清香馥郁タリ
 ○鼻ヲ撲チテ來ル○酸味ヲ食用トス○霜雪沍
 寒ニ堪ヘ○霜雪ヲ侵シ○衆芳ニ卓越ス○衆花

ニ先チテ開ク○清馨愛スベシ○誠ニ百英ノ魁
 タリ○清操ヲ愛ス○灌木○芍藥○百花ニ後レ
 テ開ク○矯姿○花中ノ王○富貴ノ花○溢美ニ
 非ズ○數顆累々○相集リ○黄金○雪中ニ花ヲ
 開キ○寒天ニ花ヲ着ケ○大サ梅子ノ如ク○色
 ハ橘子ニ似タリ○味甜酸ヲ兼ヌ○載スル臺○
 米片ヲ連ネ○脚ヲ附シ○漆ヲ以テ之ヲ塗ル○
 種々ノ製作有リ○内朱○皆朱○青漆○春慶塗
 ○繚目ノ膳○稱呼○煎茶ニ用キ○排ブル盤○
 蝶足猫足銀杏足等有リ○飯ヲ盛り羨ヲ容ル○

茶ヲ喫ム○扁平○伊万里、瀬戸清水粟田、九谷方
 古等ヲ著名ナリトス○精好○雅致○扇子、團扇○
 暑月○涼ヲ取ル○蚊蠅ヲ驅ル○空氣ヲ煽揚シ
 ○仙臺平○五泉平○嘉平治平○冬袴夏袴ノ別
 ○襠高平袴馬乘袴等ノ名○襪積ヲ着ケ○腰板
 ○紐○洋製ノ帽○近來多ク用キル○截髮盛ニ
 行ハレ○戴ク者多シ○日熱ヲ遮ル○風寒ヲ遮
 却ス○縁ハ匾平ニシテ環狀ヲナス○帶ハ帽躰
 ヲ結束シテ修飾ヲナセリ○獵虎皮ニテ製ス○
 麥稈○全身純黒○嘴○林木ニ宿シ○村里ニ出

デ○啞々曙ヲ告ゲ○番々暮ヲ報ス○反哺ノ孝
 ○其恩ニ報ズ○群鴉○柳ヲ偷ク○種子ヲ發ク
 ○能ク凶事ヲ知ル○原野ニ生長シ○山林ニ棲
 息ス○木實及穀類ヲ食フ○鴿ハ家ニ畜フ者ナ
 リ○頗、禮節ヲ知ル○必、三枝ヲ避ク○樹上ニ眠
 ル○三枝ノ禮有リ

作例第二

○箆笥ハ多ク桐ノ木ニテ製リ衣裳ヲ納ル、器
 ナリ、前面ニ錠ヲ設ケテ引出ノ開放ヲ防ク、
 ○蟬ハ樹上ニ在リテ噪キ、蛙ハ水邊ニ居テ鳴ク、

共ニ其種類多シ、

○家ハ、柱ヲ立テ、後ニ屋根ヲ葺キ壁ハ、下地ヲ作リテ後ニ土ヲ塗ル者ナリ、

○鯛ハ、海中ニ生ズル小魚ニシテ炙リテ食テ、塩ニ漬ケテ貯ヘ、又乾鯛トシテ肥料ニ用キル、

○斧ハ、鍔ヲ鍛鍊シテ造リ、櫓ノ木ヲ柄トシ薪木等ヲ伐ルニ用キル具ナリ、

○鯰ハ、池沼或ハ河流湖水ニ生ズル魚ナリ頭口甚大ニシテ二條ノ鬚有リ、漁シテ食用トス

○橘ノ類ニシテ皮稍厚ク、凹凸有ルヲ密柑トス、

冬ニ至リテ赤黄色トナル、柑色是ナリ、紀州ノ産殊ニ名有リ、

○蓮ハ、池沼ノ泥中ニ生ズル草ニシテ、其花潔白或ハ淡紅色ナリ、根ヲ蓮根ト稱シ煮テ食用トス、

○林檎ハ、果ノ名ナリ、其樹葉海棠ノ如ク、花亦淡紅ナリ、或ハ白色ナル有リ、其實熟スレバ食フバシ、

○芋ハ、畑ニ作ル野菜ノ一ニシテ、莖ニ青色有リ、紫色有リ、紫色ノ者ハ紫芋ト稱シテ莖根共ニ

食フベシ、

○鏡ハ、物體ノ影像ヲ映ス具ニシテ、舶來ノ者ハ多ク、玻璃ニテ製シ、其形長方形ナレド、我國ノ者ハ銅ニテ鑄造シ、其形圓クシテ柄有リ、

○鴛鴦ハ、文彩有リテ美麗ナル鳥ナリ、雌雄雙ビ棲、雙ビ飛ビテ、暫時モ相離レズ、多ク池塘ニ遊ビ、小魚ヲ捕リテ食ス、

○柘榴ハ、花紅ニシテ夏開ク、其實秋ニ至リテ熟スレバ自ラ裂ク、中ニ數百子有リ、其味甘クシテ酸シ、

○鰻ハ、其體細クシテ長ク鱗ナシ、此魚ヲ料理スルノ法ハ一様ナラザレド、多クハ割キテ醬油ニ浸シテ焼ク、之ヲ蒲焼ト云フ、

○鯉ト鮒トハ、湖水或ハ河流ノ如キ淡水ニ産ス、近江琵琶湖ノ源五郎鮒ト、東京淺草川ノ鯉トハ、皆其美味ナルヲ賞シテ、其名殊ニ高シ、

○氷魚ハ、近江琵琶湖ニ多シ、十二月頃之ヲ漁シテ食ス、形味恰モ鱈殘魚ノ如ク、甚淡白ニシテ賞スベシ、

○櫻ハ香氣薄シト、虽目ヲ娛マシム、花ニ單複ノ

別有り、色ニ濃淡ノ異有り、我國特種ノ花ニシテ、其艷美ナルコト衆芳中ノ第一ナリ、

○梅ハ、花ノ清香ヲ賞シ、實ノ酸味ヲ食用トス、此花能シ霜雪沍寒ニ堪ヘ、衆芳ニ先チテ開ク、真ニ百花ノ魁タリ、人ノ之ヲ賞スルコト櫻花ニ過グルハ、其清操ヲ愛スレバナリ

○牡丹ハ、灌木ノ一種ニシテ、其花芍藥ニ似タリ、五月頃衆花ニ後レテ開ク、嬌姿艷容百花ニ冠タリ、花王ト稱シ富貴ノ花ト稱スルモ、亦溢美ニ非ザルベシ、

○枇杷ハ、葉大ニシテ長ク、實ハ小ニシテ圓ク、數顆累々トシテ相集リ、其色黄金ノ如シ、雪中ニ花ヲ開キ、夏日ニ實熟ス、其味甘美ナリ、

○膳ハ、食器ヲ排ブル盤ノ名ナリ、板ニテ造リ椽ヲ着ケ、又足ヲ着ケ漆ヲ以テ種々ノ色ニ塗レリ、其足ノ形ニ因リテ、蝶足、猫足、銀杏足等ノ別有り、

○磁器ニテ製シ深ク小ニシテ飯ヲ盛り或ハ茶ヲ喫ム者ヲ茶碗ト云フ、大ニシテ扁平ナルヲ鉢ト云ヒ、其小ナルヲ皿ト云フ、并ニ菜ヲ盛ル

者ナリ、其産ハ、西京尾張肥前等ヲ佳トス、

○扇子團扇ハ、共ニ暑月ニ涼ヲ取ルノ具ナリ、竹ニテ骨ヲ造リ、両面ヨリ紙ヲ貼リ、種々ノ圖画ヲ描キタル有リ、或ハ白キ有リ、其張縮スベキヲ扇トシ、否ザル者ヲ團扇トス、

○袴ニ絹有リ、木綿有リ、仙臺平、立泉平等ハ其上品ナル者ニシテ、小倉織ハ下等ナル者ナリ、其製ニ襠高、平袴、馬乘袴等有リ、

○帽ハ、頭ニ被ブル者ノ名ナリ、羅紗、襦子等ニテ製セル有リ、又獵虎皮ニテ製セル有リ、共ニ冬

時ノ用ナリ、夏帽ハ麥稈等ニテ製レリ、并ニ腦ヲ保護シ、且身體ノ修飾ニ用キル者ナリ、

○全身純黒ニシテ、嘴甚大ニ、林木ニ宿シ、啞々曙ヲ告ゲテ去リ、番々暮ヲ報シテ歸ルハ鳥ナリ、此鳥ノ始メテ生ル、ヤ、母ニ育セラレ、既ニ長ズレバ復其母ニ反哺シテ其恩ニ報ズト云フ、飛禽スラ且然リ、況ンヤ人ニ於テヲヤ、

○鳩ハ、原野ニ生長スル者ト、家ニ畜フ者ト有リ、家ニ畜フヲ鳩ト云フ、穀類ヲ食ヒ、樹上ニ眠ル、此鳥ハ能ク禮節ヲ知リテ、親鳥ノ止ル枝ニ止

ルコト無ク必ス三枝ヲ避ク故ニ鳩ニ三枝ノ禮
有リト云フ人ニシテ禮節ヲ知ラザルハ鳥ニ
モ如カザル者ト謂フベキナリ

續作文初歩卷之一 終

續作文初歩卷之二

岡山縣 大島一雄 編輯

容易記事文類語 第三

○蟻アリ○蠮トコ○蝮ハク○蛾モ○蜻トビ○茅チガハ○蜩トビ○蛸トビ○蟪トビ○寒トビ○蟬トビ○羽化○皮
ヲ蛻ス○殼ヲ脱シ○槐陰ニ噪キ○六足ヲ有ス
○斷續○淒涼○風ヲ吸ヒ露ヲ把ム○露葉ニ吟
シ風枝ニ歌フ○柳陰ニ鳴ク○暮春○季秋○喬
木ノ一○其葉針ノ如ク○表皮ハ甲鱗ニ似タリ
○雪中ノ松柏○常盤木○庭園○棟梁ノ材ニ充
ツ○轉鳥○性暖地ヲ好ム○人家ニ巢ヲ造ル○

雛ヲ育フ○玄鳥○尾剪刀ノ如シ○上下水ヲ掠
 メテ飛ビ頰頰花ヲ穿チテ去ル○鷲鳥○鷲鷲○
 嘴爪銳利○勇猛○勇氣○雀兜ヲ搏ツ○小鳥ヲ
 攫ム○馴養○禽類○捕獵○遊獵○搏擊○鷹鷂
 ○鈎嘴缺爪○奮騰雲ヲ摩シテ飛ブ○金眸能ク
 秋毫ヲ瞥ル○發縱機ヲ誤ル勿レ○聳立シテ遠
 ヲ望ム○袖時計○外套ハ金銀ヲ以テ造ル○偏
 面ヲ硝子ニテ蓋フ○兩蓋○其機關ニ於ルヤ○
 精巧ヲ究極シ○驚クニ堪タリ○長短ノ二針○
 卷鏤ノ彈力○時辰儀○時辰表○其面ニ數字及

符號ヲ記シ○旋轉○旋回○鎖又ハ紐等ヲ結着
 シ○胸邊ニ掛ク○天然人工○鐵色ヲ帶ブ○鋼
 鐵ヲ摩擦ス○磁氣ヲ分解ス○兩極ヲ指ス○効
 用○尖柱ヲ立テ○針ヲ其上ニ置ク○板ハ周邊
 ニ東西南北ノ字ヲ記ス○針ノ向フ處ニ從ヒテ
 方位ヲ知ル○航海者○旅行者○陸途水程○洋
 海ヲ涉リ○荒漠○沙磧○途ニ迷フノ危險ヲ脱
 ス○須臾モ缺ク可ラズ○必携ノ具○氣候ノ寒
 暖ヲ計ル○寒温○玻璃ノ細管○下端ニ球形有
 リ○水銀ヲ盛リ○密塞○管側ニ度ヲ記ス○温

度ニ感ジ○凝固○膨脹○昇降○寒暑鍼○驗温
 儀○冷熱○收縮○分割○氣湿ニ感ジ○縮脹ヲ
 驗ス○華氏○列氏○攝氏○沸湯点○氷点○幽
 谷○深溪ニ入り○花ニ歌ニ柳ニ轉ヅリ○梅花
 ○竹叢中○羽黄色○春陽ニ應ジ○好音○笙簧
 ヲ奏スルガ如シ○黄鳥○籠中ニ畜フ○其聲清
 艶○詩ニ賦シ歌ニ咏ズ○涉水鳥○頸脛共ニ長
 シ○翼ヲ張レバ丈餘ニ及ブ○白鶴○陽鶴○鷓
 鴒○丹頂○鶴○魚蟲ヲ食トス○淺水ヲ渉ル○
 仙禽○聲天ニ聞ユ○雲ヲ凌ギ日ニ逼ル○千年

ノ壽○諺ニ曰ク鶴ハ千年龜ハ萬年ト其壽ノ長
 キヲ云フ○洲渚ニ遊ブ○順次ヲ亂サズ○雁行
 ○雁陣○游水鳥○扁大ノ嘴○短脚○趾間ニ蹼
 有リ○雲ニ横ハリ月ニ叫ブ○真雁ハ鴻ニ似テ
 小シ○白鴈ハ全體白クシテ嘴脚淡紅ナリ○鴻
 ハ大ニシテ背頸淺黒褐色ナリ○鴻雁北ス○鹹
 水ニ産ス○甲骨ノ内ニ隱匿ス○侵害ス○四肢
 ヲ縮メ○鼈甲○泥龜○吉凶ヲトス○甲蟲ノ靈
 ○其齡尤長シ○萬年ノ壽ヲ保ツト云フ○箕楮
 等ニ製ル○支那ニテハ芭木ト称ス○外圍ニシ

テ中虚ナリ○葉色常ニ緑ナリ○各種ノ器ヲ製
 スルニ用キル○窓前ニ植エテ愛玩ス○草ノ硬
 強ナル者○雄蓋雌蓋○綱目○清風ノ媒○弓矢
 ○籃ヲ編ミ○桶ノ箍トス○毒蟲○陰濕ノ地○
 觸ル、勿レ○螫ス○下等ノ動物○全身無數ノ
 關節ヨリ成ル○向手ト云フ○百足ハ馬陸ノ一
 名○忽愈ユ○紋汎○雲齋織○蹠○褁ム○寒ヲ
 防ギ汚穢ヲ避ク○襪○底ヲ入レ○紐ヲ付ケ○
 裁切○象皮○護謨○和製洋製ノ異○長靴ハ兩
 中ノ用○上靴ハ室中ニ用キ○護謨靴及半靴ハ

晴天ニ用キル○道路泥濘ナル時○獸皮ヲ以テ
 ス○褁ニ針鋸有リ○染メテ黒色トス

同作例

○蟬ハ土中ニ在ル蟻蟪ノ羽化セル者ナリ、蟻蟪
 ヨリ、蝮蟪ニ變ジ、終ニ蛻シテ羽ヲ生ジ蟬トナ
 リ、斷續トシテ槐陰ニ噪キ、凄凉トシテ柳陰ニ
 鳴ク、

○松ハ其葉針ノ如ク、其表皮甲鱗ニ似タリ、葉色
 常ニ緑ニシテ、四時變ズルヲナシ、故ニ常盤木

ト称ス、類ニ黒松、赤松、五葉松等有リ、或ハ材トシ、或ハ庭園ニ植テ、其他種々ノ用有リ、

○燕ハ、囀鳥ノ一種ニシテ、春ノ彼岸^{ヒガン}ニ南方ヨリ來リ、秋ノ彼岸ニ南方ニ歸ル、其性暖地ヲ好ム、人家ノ梁ニ巢ヲ造リ、雛ヲ育フ者ナリ、

○鷹ハ、鷲鳥ニシテ、鷲^ト類ヲ同ジクス、嘴爪銳利ニシテ、勇氣有リ、兔ヲ搏チ、小鳥ヲ攫ミテ食物トスルヲ常トス、人之ヲ馴養シ、遊獵ニ用テ禽類ヲ捕ラシム、

○時計ハ、時刻ヲ計ル具ナリ、長短ノ二針有リテ短針ハ時ヲ指シ、長針ハ分時ヲ指ス、又別ニ小針有リテ秒時ヲ指ス、其作用ハ卷鍍ノ彈力ニ基ク者ナリ、其製作形狀等ニ由リテ袖時計柱時計ノ別有リ、

○磁石ニ天然人工ノ二種有リ、其性鍍ヲ吸フ、天然磁石ハ、鐵色ヲ帶ビタル石ナリ、此石ヲ以テ鋼鐵ヲ摩擦スレバ、鋼鐵中ノ磁氣ヲ分解シテ其一方ハ北ヲ指シ、他ノ一方ハ南ヲ指ス、是即人工磁石ナリ、其効用タルヤ、方位ヲ示スニ於テ欽ク可ラザル器ナリ、

○寒暖計ハ、氣候ノ寒暖ヲ計ルノ器ナリ、其製玻璃ノ細管ノ下端ヲ球形ニ造リ之ニ水銀ヲ盛リ、上口ヲ密閉シ、傍ニ度ヲ記ス、其水銀溫度ニ感シテ自ラ上下ス、寒ニ逢ヘバ凝固シテ降り、熱ニ逢ヘバ膨脹シテ昇ル、其昇降ノ度ヲ見テ氣候ノ寒暖ヲ知ル可シ、

○立春ノ後、幽谷ヨリ出デ、入里ニ來リ、花ニ歌ニ抑ニ嘽ヅル、其好音春陽ニ和シ、笙簧ヲ奏スルガ如キハ、黃鳥ナリ、詩ニ賦シ、歌ニ咏ジテ以テ之ヲ賞スルハ、其聲ノ清艶ナルヲ愛スレバ

ナリ、

○鶴ハ、涉水鳥ニシテ、頸脛共ニ長ク、頂ハ赤クシテ、朱ノ如ク、羽ハ白クシテ、雪ノ如シ、翼ヲ張レバ、丈餘ニ至ル、多ク水邊ニ居テ、淺水ヲ涉リテ、小魚蟲ヲ食トス、

○雁ハ、水鳥ナリ、常ニ群ヲナシテ、洲渚ニ遊ブ、其飛バヤ、數十或ハ數百、列ヲナシテ、順次ヲ亂サズ、故ニ之ヲ雁行ト云フ、秋分此地ニ來リ、春分北地ニ歸ル、燕ト去就反對ス、真鴈、鴻、白鴈等有リ、

○龜ハ、淡水ニ生ズル有リ、鹹水ニ生ズル有リ、海ニ産スル者ハ、形大ニシテ池沼ニ生ズル者ハ小ナリ、其體甲骨ノ内ニ在リ、若シ之ヲ侵害スレバ頭尾四肢ヲ縮メテ甲内ニ隱匿ス、又鼈ト名ヅクル有リ、其甲骨ヲ筭擲等ニ製ル、鼈甲是ナリ、

○竹ハ、草ノ硬強ニシテ長大ナル者ナリ、其花年ヲ經ザレバ開カズ、三雄蕊ニ雌蕊有リテ三綱ニ目ニ屬ス、其實穀ノ如シ、種類多シ、然レモ用ノ多キハ孟宗竹、淡竹、苦竹ノ三種ヲ最トス、皆

笋ヲ食用トス、就中苦竹ハ種々ノ細工ニ用ヰルヲ以テ、其用最_モ大ナリトス、

○蜈蚣ハ、形長ク其足左右相對シテ四十足有リ、常ニ陰濕ノ地ニ住ム毒蟲ナリ、人之ニ觸ルレバ螫サル、一有リ、之ヲ油ニ漬シ貯ヘ置キテ其螫サレシ所ニ着クレバ忽チ愈ユ

○足袋ハ、木綿、絨、派、雲齋織等ヲ用ヰ、踝ヨリ先キヲ衷ムベク裁製セシ者ナリ、其色紺白ノ二種ヲ用ヰル、又小兒ノ用ヰル者ハ、赤或ハ黄有リ、寒ヲ防ギ汚穢ヲ避クルノ具ナリ、

○靴ハ象皮ト護謨トヲ以テ製ル、和製有リ洋製有リ、長靴ハ雨中ニ用ヅ、上靴ハ室中ニ用ヅル、護謨靴及半靴ハ共ニ晴天ニ用ヅル者ナリ、

容易記事文類語 第四

○善良 ○温厚 ○教師ノ誠 ○父兄ニ對シ ○從順
○勉勵 ○課程ヲ修メシ ○朋友ニ信有リ ○父母ニ孝順ナリ ○賞譽ヲ受ク ○兄弟ニ事ヘ ○弟妹ヲ遇ス ○行儀端正 ○信切 ○慈愛 ○睦シ ○相爭フ ○相闘フ ○命ヲ聽ク ○教訓 ○教誡ヲ守リ ○性質伶俐 ○惡事惡行 ○虛言ヲ吐キ ○後來 ○親族之ヲ棄テ朋友之ヲ疎ニス ○輕侮 ○陵辱 ○妄誕ヲ吐露シ ○粗暴ノ舉動 ○力役ヲ厭ク ○弊衣ヲ着破屋ニ住シ ○困窮 ○貧乏 ○放蕩 ○悔悟 ○

名ヲ揚ゲ父母ヲ顯ハス○事ハ勉強ニ在リ○宜
 ナル哉○信ナル哉○怠惰○放肆○無頼○懶惰
 習慣トナリ○心カヲ盡ス○何事カ成ラザラシ
 ○徒ニ遊戯ヲ好ミ○其身ヲ忘レ○其家ヲ喪ヒ
 ○國ヲ亡ボス○産ヲ失フ○一朝ノ念○歎ズベ
 キノ至○慎マザル可ケンヤ○豈勉メザル可ケン
 ヤ○賢愚ノ別○賢人君子○不才無智○所謂○
 自暴自棄○天性ヲ賊スル者○何ゾ其誤レルノ
 甚シキヤ○衆人ノ愛ヲ受ク○水ハ方圓ノ器ニ
 隨ヒ人ハ善惡ノ友ニ由ル○光陰ハ矢ノ如シ○

駟馬モ及バズ○白駒ノ隙ヲ過グルガ如シ○日
 月一ツビ去リテ復還ラズ○光陰ヲ費消ス○今
 年學バズトモ來年有リト謂フト勿レ○日月逝
 ル○少年老イ易ク○學問ハ成リ難シ○勤學○
 悔ユトモ及バズ○光陰ハ無上ノ寶○徒ニ費ス
 ハ無上ノ侈○富貴○貧賤○富有○身ノ貧賤ナ
 ルハ却テ進達ノ助○志氣堅確○恃ム○愧ヅ○
 縱令○職業○身ノ勉勵ヲ廢ス可ラズ○貧困ニ
 陷ル○才藝ヲ琢磨ス○顯貴ニ陞リ○至誠ノ心
 ○忍耐ノ念○切差○小事微物ヲモ苟且ニセズ

○一ノ誠心百般ノ事ヲ成シ得ベシ○積年ノ辛
 勞○痴鈍○微賤ヨリ起リ○拔擢ス可カラズ○
 智ハ學ビテ得ベクオハ勉メテ達スベシ○精力
 ○家居平常○諸般○實際經驗○當然ノ職務○
 霄壤ノ差○容易○無疆ノ幸福○不朽ノ名聲○
 高潔ノ志○信實ノ行○砥礪シ○故キヲ温ネテ
 新シキヲ知ル○藍ヨリ出デ、藍ヨリモ青シ○
 天然ノ才智ヲ稟ク○人獸蟲魚ニ論ナク○知覺
 ○運動○各種○具足シ○器械○活機○稟有○
 身軀ノ營養○造化ノ妙用○呼吸○飲食○生殖

器○胎生卵生○感覺○動作○差等○苗苔○吸
 收○莖幹○有機軀○無機軀○新陳代謝○細根
 ○末梢○雨露ノ濕○荷物ヲ積ミ○人ヲ載セ○
 人ノ乗ル○甚便利ナリ○駟馬○駿馬○馬ヲ服
 ケ○乗合馬車○御者○馭者ノ注意○主人從僕
 ○數輛○駿速○之ニ鞭ウチ○阪路○車輪○二
 人乗○家業トス○活計トス○壯年無頼ノ徒○
 健足○頡頏馱走○歸途○相競フ○挽夫○車夫
 ○軍艦商船○帆前船○蒸氣船○飛脚船○甲鐵
 艦○解○檣○甲板○機關ヲ設ケ○客室○石炭

ヲ焚キ ○船將 ○水夫 ○沸騰セシメ ○旭日ノ旗
 章 ○波戸場 ○數多ノ機關ヲ運轉ス ○進行ス ○
 大洋ヲ航シ内海ヲ駛リ ○速力 ○貿易 ○互市 ○
 大概 ○渺茫タル大洋 ○黒烟天ヲ蔽フ ○風波ノ
 爲ニ動揺ス ○安穩 ○駛行 ○大同小異 ○進退 ○
 煙筒 ○馬力 ○數百頓 ○風ノ強弱 ○方向 ○鐵道
 ○線路 ○客車數十ヲ連絡シ ○平坦ナルヲ要ス
 ○二條ノ鐵線ヲ敷キ ○機關車 ○蒸氣機關ヲ設
 ケ ○停車場 ○誘導 ○之ニ駕シ ○天邊ノ飛鳥 ○
 路傍ノ屋舎 ○却行 ○嗚呼 ○快走矢ノ如シ ○轟

ヲトシテ聲有リ ○山川ノ景色 ○隧道 ○洞道 ○
 山腹ヲ穿チ ○溪谷ヲ埋メ ○橋梁ヲ架シ ○水素
 ○酸素 ○原素 ○資リテ以テ生育繁茂ス ○飲料
 ○缺ク可カラザルノ養液 ○泉流 ○溪間ノ細流
 ○田圃ヲ灌漑ス ○灌漑 ○不潔ヲ去リ ○汚穢ヲ
 漱ギ ○衣服ヲ洗濯シ ○清濁 ○片時 ○圍繞 ○水
 ハ萬物ヲ滋潤シ ○生育ヲ遂ゲシム ○靜水 ○壓
 カノ強キ者ナリ ○湧出 ○海ニ注グ ○充滿 ○浮
 氣體 ○人畜シキウ其中ニ生活ス ○體ニ抗ス ○氛圍氣
 ○窒素 ○流動 ○稀薄 ○濃厚 ○熱ニ逢ヘバ膨脹

シ冷ユレバ收縮ス○瀰滿○填充○驛遞局○各
地方○印紙賣捌所○公私ノ信書○音信○爲換
○手形○書留○半錢ノ端書以テ一市内ニ往復
スバクニ錢ノ印紙以テ全國ニ通ズ○規則○配
達人○馬ニ跨リ○或ハ徒歩シ○東西ニ奔走ス
○送致ス○僅々數日ヲ出ズシテ數百里外ノ音
信ヲ得ルハ郵便ノ功ナリ○日ヲ刻シ時ヲ期シ
信書ヲ傳フ○政府ノ布告達○閱巷ノ珍談奇説
○社説以テ時政ノ得失ヲ論シ雜報以テ異事珍
説ヲ報ジ○海外ノ事情○報告○智識ヲ開キ○

見聞ヲ宏クシ○網羅シ○記載シテ漏サズ○懼
ル可ク樂ム可ク○裨益○頑固○裁判公報ハ判
決ノ明文ヲ掲ゲ○甲論シ乙駁シ○物價ノ高低
○出版ノ廣告○世間ノ情態○筆戰○文軍○購
求○浮説流言○讒謗○罰金ヲ課シ○禁獄ヲ命
ゼラレ○訴訟○勸善懲惡ヲ主トス○諷諫○事
實ノ違ハ之ヲ正誤ス○榮譽ヲ害シ○官吏ヲ誹
謗シ○刊行○禁止○停止○世道人心ニ益有リ
○古今ノ沿革○一條ノ鐵線○一瞬○空ニ架シ
○信ヲ萬里ニ傳ハ○傳信機○東商西賈○自家

ノ安否ヲ告グ○秘密ノ音信○暗号○官報ヲ先
ニシ私報ヲ後ニス○電氣ノ作用○鉄柱○電信
局○蜘蛛ノ網ヲ張ルガ如シ○山上海底ノ別ナ
ク○長崎ニ東京ニ箱館ニ往クトシテ電信ノ設
有ラザルハナシ○汽車モ及バズ況ンヤ汽船ヲ
ヤ○至速中ノ又速○至便中ノ又便ナル者○急
報○照會○敵地ノ動靜

同作例

○善良

善良ノ生徒ハ其教師ニ對シ必_ズ從順ニ且勉勵シ
テ其課程ヲ修メン、

○又

善良ナル兒童ハ父母ニ事ツルニ孝順ヲ以テシ
弟妹ヲ遇スルニ慈愛ヲ以テス、

○不良ノ學生

不良ナル學生ハ後來必_ズ尊キ人ト爲ルコト能ハ
ザルベシ、何トナレバ父母及教師ノ訓誡ヲ用キ
ズ、能ク虚言ヲ吐キテ人ヲ欺キ、或ハ年少ノ者ヲ
陵侮シテ樂シム故ニ良友ノ之ト交ハルヲ欲セ

ザレバナリ、

○勉強

平生怠り無ク勉強セバ、其業ノ成ラザルコト無シ、身ヲ立テ道ヲ行ヒ、名ヲ揚ゲ父母ヲ顯ハスモ、亦之ニ因ラザルハ無シ、古人曰ク事ハ勉強ニ在リト宜ナル哉、

○怠惰

幼年ノ時ヨリ放肆ニシテ、更ニ學業ヲ勉ムルコトナク、徒ニ遊戯ヲ事トシ、懶惰習慣トナリ、終ニ改ムルコト能ハザルニ至リ、生長ノ後悔ユトモ及ブ

コトナシ、豈勉メザル可シヤ、

○賢愚

人ニ賢愚ノ別有ルハ、多ク學ト不學ト勉ト不勉トニ由ル、勉メテ學ブキハ賢者ト爲リテ世ニ用キラル、コトヲ得ベシ、然ルヲ學バズ勉メズシテ、終ニ不才無智ノ人トナルハ、即所謂自暴自棄ニシテ、其天性ヲ賊スル者ト謂フベシ、

○勤學

光陰ハ矢ノ如ク、一タビ去リテ復還ラズ、今日學バズトモ來日有リト謂フコト勿レ、人ハ老イ易ク

シテ學問ハ成リ難シ、若シ空シク光陰ヲ消シテ、
勤學セザレバ、必、老イテ悔ユルコト有ルベシ、

○貧富

富貴恃ム可ラズ、貧賤豈愧ヅルニ足シ、縱令富貴
ノ家ニ生ル、凡、職業ヲ勉勵セズ、學問無ケレバ
忽、貧困トナル、其身貧賤ナリト、虽、才藝ヲ琢磨ス
レバ、顯貴ニ陞リ、富有ノ身トナルモ、亦難キニ非
ガルナリ、故ニ人タル者ハ、貧賤ヲ以テ身ノ勉勵
ヲ廢ス可ラズ、

○動物

人獸蟲魚ニ論ナク、各種ノ器械ヲ具足シ、知覺及
運動ノ二活機ヲ稟有シ、呼吸飲食シテ身軀ヲ營
養スル者ヲ總稱シテ、動物ト云フ、就中人獸ノ如
キハ、造化ノ妙用、真ニ驚クニ堪ヘタリ、

①植物

植物トハ、草木菌苔等ノ總稱ニシテ、皆水ト空氣
ヲ吸收シ、枝葉莖幹等ヲ長育ス、然レバ、動物ノ如
ク、自ラ運動知覺スルノ活機ナキ者ナリ、

○馬車

車ニ馬ヲ服ケテ之ヲ引カシメ、多ク荷物ヲ積ミ、

又ハ人ヲ載セテ遠近ニ來往スル者ヲ馬車ト云フ、其形ノ大小ニ隨ヒテ一馬ヲ要スル有リ二馬ヲ要スル有リ或ハ三馬四馬ヲ用キル有リ、其走ルノ速カニシテ甚便利ナル者ナリ、

○人力車

人力車ハ、近年我國ノ發明ニシテ其形種々有レド、皆二輪ニシテ前ニ轆有リ、人ヲシテ之ヲ挽カシメ、旅客之ニ乘リテ往來ス、此人ヲ車夫又挽夫ト云フ、多クハ壯年無頼ノ者ノ爲ス業ナリ、時ニ能ク馬車ト頷頷シテ駛走ス、其健足驚クニ堪ヘ

タリ、

○蒸氣船 又 汽船

蒸氣船ハ、船中ニ種々ノ機關ヲ設ケ、石炭ヲ焚キ湯ヲ沸騰セシメ、蒸氣ノ力ヲ以テ數多ノ機關ヲ運轉セシメテ進行スル者ナリ、其速力一ナラズト虽、大概一時間ニ五六里ヲ常トス、

○帆前船 又 帆走船

蒸氣ノ力ヲ借ラズ、風力ヲ借リテ駛行スル船ヲ帆前船ト云フ、其形狀蒸氣船ト大同小異ナレド、煙筒ナクシテ帆桁多シ、是レ帆ヲ揚グルノ汽船

ヨリ多キヲ以テナリ、其速カハ風ノ強弱ト方向トニ因リテ同シカラザレバ、時トシテハ汽船ヨリ速キト有リ、

○汽車 又蒸氣車

汽車ハ平坦ナル道ヲ造リ、上ニ二條ノ鐵線ヲ敷キ、其上ヲ往返スル車ナリ、一ノ機關車有リ、中ニ蒸氣機ヲ設ケ、數十ノ客車ヲ連絡シ、之ヲ誘導シテ走ル、其駿速矢ノ如シ、之ニ駕シテ左右ヲ望メバ、天邊ノ飛鳥モ常ニ却行シ、路傍ノ屋舎皆我ニ背キテ走ルガ如シ、嗚呼蒸氣ノ力モ亦大ナル哉、

○水

水ハ水素及酸素ト名ヅクル二個ノ原素ヨリ成レル者ニシテ、地上動植物ノ資リテ以テ生育繁茂スル所ノ源ナリ、吾人日用ノ食物飲料一トシテ水ニ依ラザルハナシ、故ニ水ハ動植物ニ於テ一日モ缺ク可ラザルノ養液ナリ、

○空氣

空氣ハ地球ヲ圍繞シ、方物ノ内外ニ充滿セル所ノ浮氣體ニシテ、目以テ之ヲ見ル可ラズト雖、其氣ノ充滿セザル所ナク、草木其中ニ繁茂シ、人畜

其中ニ生活ス、今扇ヲ動カセバ風ヲ生ジ、又速ニ走レバ體ニ抗スル者有ルヲ覺ユ、是即空氣ノ充滿セルノ證ナリ、凡地上ノ動植物ハ皆空氣ヲ呼吸シテ生活ス、故ニ空氣ハ動植物第一ノ要品ナリ、

○郵便

驛遞局ヲ東京ニ置キ、各地方ニ郵便局ヲ置キ、仰紙賣捌所ヲ處々ニ設ケテ、公私ノ信書ヲ通達スル者是郵便ナリ、數多ノ配達人有リテ、或ハ馬車ニ乗り、或ハ馬ニ跨リ、又ハ徒歩シテ日々四方ニ

奔走シ、期ヲ刻シ時ヲ計リテ信書ヲ傳ス、

○新聞紙

上ハ政府ノ布告達ヨリ下ハ閭巷ノ珍說奇談及海外ノ事情等ニ至ルマデ悉ク網羅記載シテ漏スナキハ新聞紙ナリ、人之ヲ見テ智識ヲ開キ、見聞ヲ宏クシ、且能ク惡ノ懼ルベク善ノ樂ムベキヲ曉ルニ至ル、新聞紙ノ世ニ裨益有ル知ルベキナリ、

○傳信機

一條ノ鐵線以テ空ニ架シ、一瞬ニ信ヲ萬里ニ傳

フルハ傳信機ナリ、東商西賈之ニ依リテ五ニ物
價ノ高低ヲ報ジ父子朋友之ニ依リテ共ニ自家
ノ安否ヲ告ゲ、秘密ノ音信ハ暗号ヲ以テ通ズ、真
ニ是至速至便ノ器ト云フベキナリ、

續作文初歩卷之二 終

明治十二年十一月一日出版々權御願
同 年十二月十八日版權免許
同 十三年五月 刻成發兌

定價金拾貳錢

編輯人

岡山縣士族

大島 一雄

近江國滋賀郡大津太閤町五番地寄留
滋賀縣平民

出版人

岸 本 忠 七

近江國滋賀郡大津赤町五番地之内五番住

發賣人

大津外屋町

小川 義 平

同 丸屋町

同 澤 宗 次 郎

